

保護者の皆様へ

お子様の身体に障害があっても、“他の子と同じように、いろいろな遊び、スポーツ、学習を体験してもらいたい”、親としてごくあたりまえの、自然な「我が子の成長」の願いがあります。

日本肢体不自由児協会、毎日新聞東京社会事業団、NHK厚生文化事業団、は、それぞれの団体の特色をいかして、この願いを実現すべく「雪と遊ぼう：親と子の療育キャンプ」を企画しました。令和 8 年初春、お子さんと雪山、スキー、ソリ滑りの体験をしてみませんか。

<雪遊びでできることは？>

☆児童のプログラム

雪合戦・ソリ滑り・

雪上キャンプファイヤー など

☆保護者のプログラム

スキー教室・療育セミナーなど

☆親子でのプログラム

雪上大運動会 など



<キャンプ生活は？>

・キャンプ期間中は、お子様と保護者の方の宿舎は別となり、プログラム活動も基本的に別となります

・お子様の移動・食事・入浴等の生活面、雪上プログラム等のお手伝いは、研修を重ねたキャンプボランティアが担当します

・必要に応じて家庭訪問をさせていただく場合があります

・キャンプには健康管理のため医療スタッフも同行します

参加者の声♪ ～ WHC 思い出文集より抜粋 ～



ぼくは冬のキャンプにいきました。にいがたのスキー場です。

たのしかったです。

キャンプではソリやキャンプファイヤー、もちつきをしました。

スノーモービルにのりました。とてもきもちよかったです。

おもちはスゴクおいしかったです。

おおきなオラフをつくりました。

とんじるおいしかったです。

参加児童：小4男児

初めての雪山でスリルのある遊びができてとても楽しかったです。
お泊まりも初めてでしたが、周りの方々、お友だちに助けられ、楽しく過ごせました。
本当にありがとうございました。

参加児童：小1女児（母代筆）

